

第1号議案 平成28年度事業計画に関する件

平成28年度事業計画

平成28年度はこれまでに積み重ねた活動を発展させ、下記のような事業に取り組むものとする。

- 1、募金の呼びかけを活性化（広報活動を強化）させる他、土地取得のための助成金などを活用して、多様な生物が生息するナショナル・トラストの森や水辺を300haに広げる。
- 2、取得したトラスト地の中の人工林を伐採し、行政や他団体や企業と協力して、自然林に移行する試験研究の施業や、見晴らしの良くなった尾根筋を活用して、トラスト地を結ぶトレッキングコースの設置を検討する。
- 3、トラスト地の森を自然林に戻していく過程で、地域住民と一緒に活用可能な森のめぐみを研究し、都市に暮らす会員や支援者に届ける仕組みを研究する。
- 4、会員が自主的に設置・運営する「友の会」の活動を支援する。地域「友の会」が独自に会費を徴収する場合は、その用途は「友の会」が決める。
- 5、インターネット書籍等を通じて、ヤイロチョウや生物多様性に関する書籍を出版する。
- 6、四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンターの運営について
 - A、教育機関や他団体等に利用を呼びかけて、ネイチャーセンター入館者数5,000人以上を目指す。
 - B、ネイチャーセンターの休館日は、4月～9月は毎週月曜日、10月～3月は、森の整備作業等に充てるため、休館日を増やすことを理事会で検討する。但し、春の連休中、夏休みなどの長期休暇期間は、原則として開館する。年末年始は、休館日とする。
 - C、ネイチャーセンターの季節展・特別展を行う他、年間計画（別紙）を大型ポスターなどに作成して、会員や教育機関・関係団体等に配布する。
 - D、こどもの夢基金など各種の助成金や活動支援寄附金を活用して、「子ども交流カワウソキャンプ」「自然林再生プロジェクト」などを推進する。
 - E、原子力発電所事故による汚染地域に居住する福島の子どもたちや、引きこもりの子どもたちを受け入れて自然体験活動を支援する。
- 7、生態系保全やナショナル・トラスト思想の普及に関する、教材の研究、作成などに取り組む。